

岡崎市中央図書館大量アクセス事件

- ・ ある男性がプログラムを作成
- ・ 連続アクセス
- ・ 逮捕される
- ・ 結果的に図書館のシステムに落ち度

- ・ システムを作成した会社が謝罪



男性と図書館のそれぞれの視点

男性

- 悪いことをしたつもりはない
- プログラムにミスがあったのかと強気に出れない
- プログラムに詳しい人を調査に参加させてほしい
- 人生がめちゃくちゃにされた

図書館

- 男性からの突然の営業妨害
- まさかシステムに問題があるはずがない

この事件からの教訓

①思い込みを捨てる

②事件の調査には専門家を同行させる